

自然災害発生時の冷凍空調機器やヒートポンプ給湯機 に関する注意事項について

様々な自然災害が発生した時に、ご家庭でお使いのエアコンやヒートポンプ給湯機、職場や店舗などでお使いの空調機器やショーケース等の冷凍冷蔵機器などになんらかの影響が及ぼされる場合があることが予想されます。下記の注意事項をお守り下さい。

1. 設置時の注意事項（自然災害にあう前に）

- 1) エアコンや冷凍冷蔵機器の室外機やヒートポンプ給湯機のヒートポンプユニット及び貯湯ユニットは、メーカー据付マニュアルに従い推奨の器具にてしっかり固定してください。
- 2) 室内機は、メーカー据付マニュアルに従った設置をしてください。

2. もしも災害にあってしまったら

下記の注意及び対応をお願いします。

- ① 機器が水に浸ったり、風や地震で転倒したり傾くなどの異常に気付いたら、まずは電源のブレーカを落としてください。
- ② 転倒したり傾いたりしている機器には近づかないでください。
- ③ 必ずメーカーの取扱い説明書の巻末に記載されたサービス窓口へご連絡頂くか、専門業者に依頼して正常状態に戻し、点検確認を行った後にご使用ください。

【予想される危険】

- ① 配管や熱交換器が損傷していた場合、冷媒ガスが噴出していると噴出の圧力によってのけがや凍傷を負う恐れがあります。
- ② エアコンや冷凍冷蔵機器をお使いの室内で冷媒ガスが漏れていた場合、冷媒ガスを吸い込み、気分が悪くなったり、条件によっては酸欠になる恐れがあります。
- ③ 浸水や大雨により断熱材や防音材が水を含んだ状態でお使い続けると腐食が進み、冷媒ガスの漏えいや故障の原因となる恐れがあります。
- ④ 配線や電子基板が損傷、電源配線が端子から外れていた場合、そのまま通電すると短絡・感電する恐れがあります。
- ⑤ 電源端子部と金属筐体の間に水がついた場合も、そのまま通電すると短絡・感電する恐れがあります。
- ⑥ ファンが破損していた場合、そのまま運転すると破損部品の飛散によってけがをする恐れがあります。